

事業名	令和元年度「能登・祭りの環」インターンシップ事業	
活動形態	活動場所	①穴水町沖波／②能登町矢波／③輪島市門前町／④珠洲市粟津
	活動人数	<p>①穴水町「沖波大漁祭り」：30名（金沢大学7名、石川県大学1名、金沢星稜大学21名、金沢医科大学1名）</p> <p>②能登町「矢波諏訪祭」：22名（金沢大学3名、石川県立看護大学16名、金沢医療センター附属金沢看護学校3名）</p> <p>③輪島市「黒島天領祭」：36名（金沢大学8名、石川県立大学4名、石川県立看護大学17名、金沢星稜大学6名、放送大学1名）</p> <p>④珠洲市「粟津の秋祭り」：19名（金沢大学10名、石川県立大学8名、信州大学1名）</p> <p>※短期インターンのみ参加：3名（金沢大学1名、石川県立大学1名、石川県立看護大学1名）</p> <p style="text-align: right;">【計110名】</p>
活動内容	<p>平成23年度から「能登・祭りの環プロジェクト」として、少子高齢化等により担い手が不足する能登の伝統文化である「祭り」に、学生達が参加をすることでその開催を支援してきており、平成28年度からは「『能登・祭りの環』インターンシップ事業」として、能登の伝統文化である祭りへの参画を地域へのインターンシップと位置付け、今年度は、祭り当日のみ参加する「当日インターンシップ」、祭りの開催前に地域を訪れ、祭りの歴史や太鼓の叩き方等を学ぶ「短期インターンシップ」、祭りをより深く学ぶ機会を学生に提供するため、大学コンソーシアム石川の「シティカレッジ」に能登の祭りに関する科目を開講するの3つの取組を実施した。</p> <p>なお、事業の実施は「能登キャンパス構想推進協議会」の構成機関それぞれの担当で構成された「『能登・祭りの環』インターンシップ事業実行委員会」が行った。</p> <p>1. 当日・短期インターンシップ</p> <p>①穴水町：沖波大漁祭り【8月14日～15日】</p> <p>当日は、金沢大学7名、石川県大学1名、金沢星稜大学21名、金沢医科大学1名の計30名の学生と、金沢星稜大学の教員1名が参加した。</p> <p>短期では、7月13日、27日に地域住民との打ち合わせに参加したほか、8月4日は7名、12日は6名の学生倉庫からのキリコ出し、キリコの組立作業に参加した。</p> <p>②能登町：矢波諏訪祭【8月15日～16日】</p> <p>当日は、金沢大学3名、石川県立看護大学16名、金沢医療センター附属金沢看護学校3名の計22名の学生と、石川県立看護大学、金沢星稜大学の教員4名が参加した。</p> <p>③輪島市：黒島天領祭【8月17日～18日】</p>	

当日は、金沢大学 8 名、石川県立大学 4 名、石川県立看護大学 17 名、金沢星稜大学 6 名、放送大学 1 名の計 36 名の学生と、金沢大学、金沢星稜大学の教員 2 名が参加した。

短期では、学生 5 名と教職員 1 名が、8 月 8 日に黒島天領祭の祭礼実行委員の方々を訪問し、黒島の歴史と現状、祭りの由緒などについて教えていただき、太鼓保存会の方々から天領祭での太鼓の叩き方を学んだ。

④珠洲市：粟津の秋祭り【9 月 12 日～13 日】

当日は、金沢大学 10 名、石川県立大学 8 名、信州大学 1 名の計 19 名の学生と、石川県立大学と金沢星稜大学の教員 2 名が参加した。

短期では、学生 12 名が参加し、7 月 20 日に粟津自彊団の濱山団長らに石川県立大学までお越しいただき、学生と教職員に対し、太鼓の叩き方をご指導いただいた。

2. シティカレッジ

金沢大学 3 名、石川県立看護大学 5 名、金沢星稜大学生 6 名の計 14 名の学生が受講した。講義では、大学教員や自治体職員による奥能登地域の魅力と祭りの課題についての講義のほか、のと里山左海ミュージアムや輪島市キリコ会館を見学し、施設の方から講義をしていただいた。

その後、祭り参加に向けた事前学習を経て、実際に祭り当日に担ぎとして参加。後日、各祭りの活動報告や、祭りに参加した感想などをグループワークをとおして共有した。